１．掘削

ボーリングマシンを使用して、目標深さまで掘削します。

２．接地抵抗確認

掘削孔を水で満たし、ボーリングロッドの接地抵抗値を測定し、目標値が得られていることを確認します。

３．掘削ロッドの調整

ロッドを2本使用した場合は、インナーロッドを引き抜き、アウターロッドのみにします。

４．接地極の準備

立ち上げ用のIV線と接地極の裸銅線を、T型コネクタ等を用いて接続します。

５．接地極の挿入

接地極を掘削孔の底面まで挿入します。

接地極の先端に接地棒等のおもりを固定すると、挿入が容易になります。

６．バイオサンアースの撹拌

撹拌容器に水を入れてからバイオサンアースを投入し、ハンドミキサーで均一に撹拌します。

使用水量は1袋あたり25～30Lが目安です（サンアースＭ５Ｃと同程度の使用水量）。

1袋あたり約4mの施工が可能ですが、掘削孔径、土壌の空隙率、加水量等により施工長は前後します。

※複数袋を撹拌する場合は、撹拌不足を防ぐため、一度に撹拌する量は2袋以下としてください。

例：3袋分を撹拌する場合は、2袋を十分に撹拌した後、残り1袋を追加投入し再撹拌を行ってください。

※撹拌後にダマが目立つ場合は、金網ザル等ですくい取って除去してください。

７．掘削孔への充填

水練りしたバイオサンアースを、地表面から流し込むか、注入管を使用して掘削孔に充填します。

注入管を使用する場合は、注入管を掘削孔に挿入し、水中ポンプで水練りしたバイオサンアースを充填します。

ポンプ吸込部の開口は5mm以上とし、詰まりを防止してください。

また、容器下部から金網フィルターを通して移送する装置（例：2槽構造のグラウトミキサー）は、

バイオ炭粒子が金網に詰まるおそれがあるため使用しないでください。

８．充填完了後の処置

バイオサンアースが地表面まで到達したら、アウターロッドを徐々に引き抜きます。

引き抜きに伴い、液面が低下しますので、バイオサンアースを追加充填してください。

注入管を引き抜く場合は、アウターロッドとあわせて引き抜いてください。

数日に分けて充填する場合は、充填済みのバイオサンアースが固化するため、

その日の充填済みの深さまでアウターロッドを引き抜いてください。

９．埋め戻し

充填後は徐々に液面が低下します。埋め戻し前に液面を確認し、低下分は必ず追加充填してください。

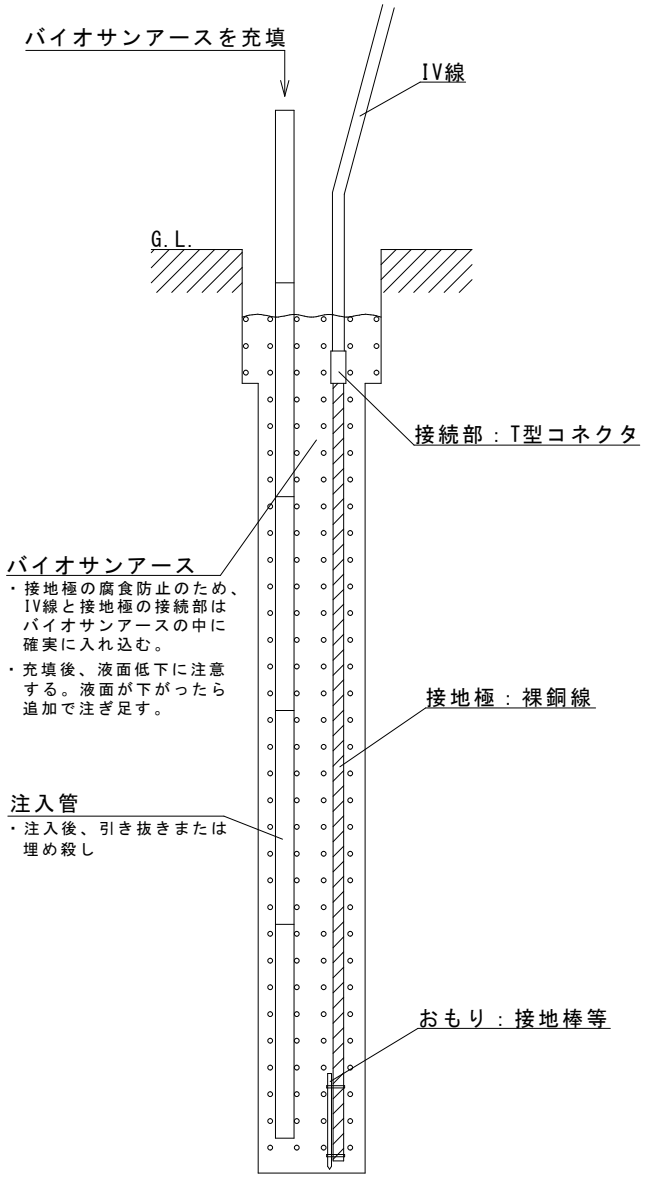
埋め戻しは充填翌日の実施を推奨します。

IV線と接地極の接続部は、金属露出部が外に出ないよう、必ずバイオサンアース内に入れてください。

１０．最終接地抵抗測定

埋め戻し後、接地抵抗値を測定し、目標値を満足していることを確認してください。

【 注入管を使用する場合の施工例 】



DSN	商品開発部	'24.08.21	UNIT mm			TITLE バイオサンアース ボーリング工法施工手順
DWG	S.Kurano	'26.10.05	SCALE －／－	DWG No. G-240030E02	REV. c	
CHK	K.kobayashi	'26.10.05				

SANKOSHA